

日本の大学数 2025年度は793校

新設で2校増えた一方、統合や募集停止で5校減

旺文社 教育情報センター 2025年7月15日

当記事では、2025年度時点での日本の大学数をまとめた。あわせて、全国の大学の学部・学科数、学べる学問分野の設置状況なども掲載した。日本の大学に関する基礎データとして示したい。

※本稿の集計データは『登雪時代4月臨時増刊、8月臨時増刊』（旺文社）ならびに文部科学省資料を基にしている。

■増加を続けていた大学数が減少

2025年度の大学数は793校だった。昨年度の796校から3校、減少した。

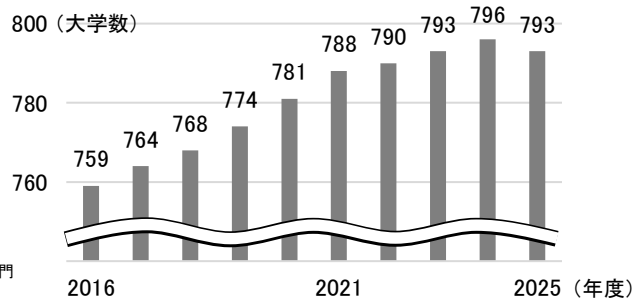
大学数は資料によって集計対象が異なることがあるが、本稿では当該年度の学生募集を行った大学を対象とし、募集を停止した大学は数に入れていない。一方、防衛医科大学校や気象大学校など、文部科学省の所管外であっても、学士の学位が取得できるところについては数に含めている。

2025年度は東京経営大学とZEN大学が新設された。どちらも通信制の大学である。専門職大学については、2019年度の制度スタート以降、2023年度まで毎年新設が続いていたが、今年度も昨年度に続き設置はなかった。

一方、東京医科歯科大学と東京工業大学の統合と、桃山学院大学と桃山学院教育大学の統合があった。また、ルーテル学院大学と高岡法科大学、電動モビリティシステム専門職大学が募集停止となり、5校減。直近10年間の大学数は図表1の通り、毎年増加が続いていたが、今年度は減少である。

設置者別の内訳を見ると、私立が非常に多い（次ページの図表2参照）。全793校の内、私立大学が74.5%、私立専門職大学が2.0%で、合計で76.5%。およそ4分の3にあたる。国立大学は10.2%、公立大学は12.0%である。

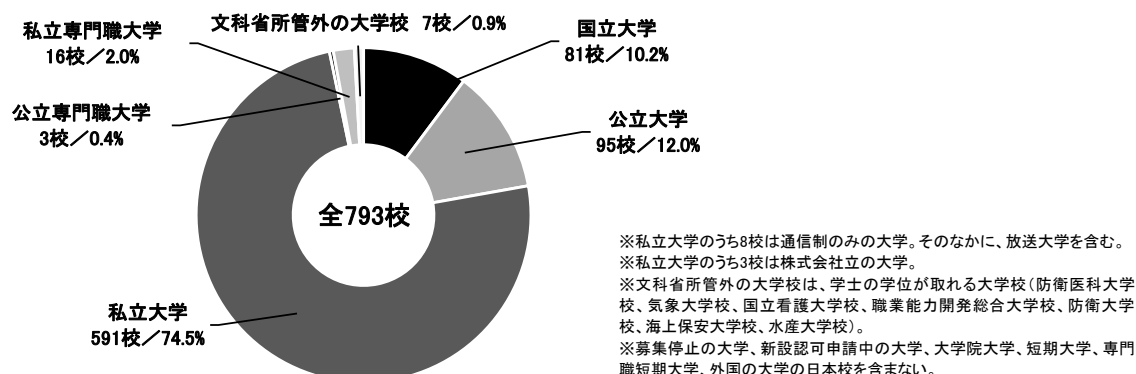
【図表1】 大学数の推移



※学士の学位が取れる大学校を含む。

※募集停止の大学、新設認可申請中の大学、大学院大学、短期大学、専門職短期大学、外国の大学の日本校を含まない。

〔図表2〕 2025年度 日本の大学数の内訳



〔図表3〕 2025年度 学部数・学科数の設置者別の内訳

	学部数	占有率	学科数	占有率
国立大学	404	15.3%	876	16.7%
公立大学	218	8.3%	457	8.7%
私立大学	1,989	75.5%	3,884	73.8%
公立専門職大学	3	0.1%	4	0.1%
私立専門職大学	18	0.7%	29	0.6%
文科省所管外の大学校	1	0.0%	11	0.2%
合計	2,633	—	5,261	—

※「学部組織なし」「学科組織なし」は集計から除外。
 ※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

学部数・学科数を図表3で示した。国立大学は総合大学が多いため、学部・学科の占有率は図表2と比べてやや大きくなる。公立大学は看護系、医療系など単科大学が多いため、占有率は小さくなる。私立大学は大学数の割合も学部・学科の占有率もあまり変わらない。

昨年度と比べると、全体的に学部数が増える傾向が見られた。国立大学が5増、公立大学が1増、私立大学が28増である。私立大学では情報系や看護系の学部設置が目立った。どちらも社会からの人材養成を強く求められている学部だ。

学科数は設置者ごとに多少の増減があるものの、合計では昨年度と変わらなかった。岩手大学理工学部、島根大学総合理工学部、宮崎大学農学部などで学科が統合される動きが見られた。理系の学部では幅広い知識や俯瞰的な視野をもたせるため、入学時には専門分野を決めない、学科の大括り化が見られる。

■学問分野は経営学・経営情報学・商学・会計学が多い

次ページの図表4の通り、学科数が最も多い学問分野は経営学・経営情報学・商学・会計学。次に多いのは社会学・観光学・メディア学だった。全大学を合計したため、私立大学での設置が多い学科が上位になる。

3年前と比較すると、数学・情報科学が47増（図表5参照）。データサイエンスなど、情報を扱う学科の設置が増えている。情報工学の増加も同様の意味である。また、社会学・観光学・メディア学と、経営学・経営情報学・商学・会計学も増加した。

[図表4] 2025年度 学問分野別 学べる学科数[全大学集計]

	学問分野	学科数		学問分野	学科数		学問分野	学科数
1	経営学・経営情報学・商学・会計学	528	24	栄養学	149	46	住居学	64
2	社会学・観光学・メディア学	389	25	史学・地理学	144	48	美術	54
3	医療・保健学	365	26	政治学・政策学	141		音楽	54
4	語学	342	27	生物学・生命科学	140	50	光工学／その他	51
5	国際関係学・国際文化学	341	28	応用化学	132	51	家政・生活科学	50
6	情報工学	334	29	特別支援教育課程	127	52	地学	47
7	看護学	308	30	環境科学／その他	116		畜産学・動物学	47
8	経済学	288	31	食物学	114	54	航空・宇宙工学	43
9	小学校・幼稚園課程	275	32	薬学	111	55	農業経済学	42
10	心理学	265	33	土木工学	106	56	応用物理学	41
11	文学	247	34	人間科学／人文系その他	101		被服学	41
12	文化学	238	35	哲学	95	58	水産学	40
13	数学・情報科学	222	36	物理学	89	59	経営工学・管理工学	36
14	機械工学	206	37	農学	84	60	工芸	35
15	電気・電子工学	204	38	教育学	83	61	教養学	34
16	体育・健康科学	194	39	医用・生体工学	82	62	農業工学	33
17	社会福祉学	186		医学	82		森林科学	33
18	児童学・子ども学	184	41	生物工学	80		養護教諭課程	29
19	建築学	175	42	化学	79	64	歯学	29
20	法学	167	43	農芸化学	78	66	資源工学	18
	芸術系その他(CG等含む)	167	44	総合科学	77	67	獣医学	17
22	中等教育課程	160	45	材料工学	67	68	船舶・海洋工学・商船学	15
23	デザイン	152	46	生物生産・生物資源学	64	69	原子力工学	9

※学問分野は『螢雪時代』(旺文社)の分類による。
※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。
※学科組織がない場合は、学部をカウント。
※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

[図表5]
2022年度と比較して、学べる学科数が増えた学問分野[上位10分野／2025年度 全大学集計]

	学問分野	2025年度	2022年度	増加数
1	数学・情報科学	222	175	47
2	社会学・観光学・メディア学	389	352	37
3	経営学・経営情報学・商学・会計学	528	499	29
4	情報工学	334	309	25
5	総合科学	77	62	15
6	中等教育課程*	160	146	14
7	体育・健康科学	194	182	12
	建築学	175	163	12
	看護学	308	297	11
9	経済学	288	277	11
	住居学	64	53	11

* 2022年度の中等教育課程は中学校課程と高等学校教員養成課程の合計。
※学問分野は『螢雪時代』(旺文社)の分類による。
※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。
※学科組織がない場合は、学部をカウント。
※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

■国立は理系が多く、公立は看護・医療系が多い。私立は文系が多数

次ページの図表 6 に、国公立大学別に学問分野別の学科数上位 20 を示した。
上位 20 分野のうち、国立大学では理・工・農学系や教員養成系が多い。
公立大学はトップは看護学で、医療・保健学が 4 位、栄養学や食物学も入っている。また、政治学・政策学もある。社会福祉学が比較的多いのも特徴である。公立大学においては地域に貢献する人材育成が反映された構成が見て取れる。
私立大学は人文科学系・社会科学系のいわゆる文系分野が多数見られるが、医療・保健学や教員養成課程、芸術系などさまざまな分野が見られる。

〔図表6〕2025年度〔国公立大学別〕学問分野別 学べる学科数〔上位20分野〕

国立大学			公立大学			私立大学		
学問分野		学科数	学問分野		学科数	学問分野		学科数
1	情報工学	81	1	看護学	53	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	427
2	数学・情報科学	75	2	経営学・経営情報学・商学・会計学	47	2	社会学・観光学・メディア学	323
3	機械工学	70	3	情報工学	40	3	語学	294
	電気・電子工学	70	4	医療・保健学	29	4	医療・保健学	293
5	応用化学	61	5	経済学	28	5	国際関係学・国際文化学	283
	小学校・幼稚園課程	52		国際関係学・国際文化学	28	6	小学校・幼稚園課程	219
6	中等教育課程	52	7	社会福祉学	24	7	心理学	217
	土工学	52		デザイン	24	8	経済学	212
9	生物学・生命科学	49	9	社会学・観光学・メディア学	23	9	看護学	211
	経済学	48		語学	22	10	情報工学	203
10	建築学	48	10	文化学	22	11	文学	201
	特別支援教育課程	46		数学・情報科学	22	12	文化学	178
12	経営学・経営情報学・商学・会計学	46	13	栄養学	20	13	体育・健康科学	177
	物理学	46		文学	18	14	児童学・子ども学	174
15	農学	43	14	環境科学／その他	18	15	社会福祉学	157
	社会学・観光学・メディア学	42		電気・電子工学	18	16	芸術系その他(CG等含む)	143
	材料工学	42		建築学	18	17	栄養学	126
16	医学	42	18	機械工学	16		法学	124
	看護学	42		政治学・政策学	14	18	数学・情報科学	124
20	心理学	40	19	食物学	14	20	機械工学	118

※学問分野は『螢雪時代』(旺文社)の分類による。 ※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。 ※学科組織がない場合は、学部をカウント。
※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

〔図表7〕2025年度〔エリア別〕学問分野別 学べる学科数〔上位20分野／全大学集計〕

北海道・東北			関東・甲信越			北陸・東海		
学問分野		学科数	学問分野		学科数	学問分野		学科数
1	経営学・経営情報学・商学・会計学	45	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	233	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	73
2	看護学	34	2	社会学・観光学・メディア学	192	2	語学	55
3	医療・保健学	32	3	国際関係学・国際文化学	173	3	医療・保健学	49
4	情報工学	31	4	語学	141	4	情報工学	48
5	社会福祉学	26		医療・保健学	141	5	看護学	46
6	経済学	25	6	情報工学	132	6	国際関係学・国際文化学	43
7	小学校・幼稚園課程	23	7	文学	125	7	小学校・幼稚園課程	42
8	心理学	22	8	経済学	124	8	社会学・観光学・メディア学	39
	社会学・観光学・メディア学	20	9	文化学	114	9	心理学	36
9	電気・電子工学	20	10	心理学	112	10	経済学	35
	文化学	19	11	看護学	110	11	文化学	34
	機械工学	19	12	数学・情報科学	101		機械工学	34
13	国際関係学・国際文化学	18	13	小学校・幼稚園課程	93	13	電気・電子工学	30
	語学	17	14	機械工学	87		中等教育課程	28
	法学	17	15	法学	86	14	児童学・子ども学	28
	建築学	17	16	電気・電子工学	84	16	体育・健康科学	27
	農学	17	17	体育・健康科学	83	17	文学	25
	デザイン	17	18	社会福祉学	77	18	数学・情報科学	22
	中等教育課程	16	19	芸術系その他(CG等含む)	76	19	栄養学	21
	数学・情報科学	16	20	政治学・政策学	72	20	建築学	20
19	農芸化学	16						
	児童学・子ども学	16						
	体育・健康科学	16						

関西			中国・四国			九州		
学問分野		学科数	学問分野		学科数	学問分野		学科数
1	社会学・観光学・メディア学	93	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	58	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	46
2	経営学・経営情報学・商学・会計学	89	2	情報工学	38	2	語学	38
3	語学	78	3	医療・保健学	37	3	医療・保健学	37
4	医療・保健学	74	4	小学校・幼稚園課程	36	4	看護学	35
5	国際関係学・国際文化学	65	5	看護学	34	5	情報工学	34
6	小学校・幼稚園課程	61	6	経済学	28		経済学	30
7	情報工学	57	7	社会学・観光学・メディア学	27	6	国際関係学・国際文化学	30
8	看護学	54	8	心理学	25	8	社会学・観光学・メディア学	29
9	心理学	53	9	児童学・子ども学	23	9	小学校・幼稚園課程	26
	経済学	53		文学	22	10	電気・電子工学	24
11	文学	51	10	語学	22	11	建築学	23
12	数学・情報科学	47		中等教育課程	20		心理学	22
13	文化学	41		特別支援教育課程	20	12	社会福祉学	22
14	芸術系その他(CG等含む)	40	12	数学・情報科学	20	14	機械工学	21
	史学・地理学	37		機械工学	20	15	文化学	20
15	児童学・子ども学	37		体育・健康科学	20		法学	20
17	建築学	35		社会福祉学	19	17	特別支援教育課程	18
	体育・健康科学	34	17	生物学・生命科学	19		児童学・子ども学	18
	デザイン	34		栄養学	19	19	文学	17
20	電気・電子工学	32	20	国際関係学・国際文化学	18		数学・情報科学	17
				電気・電子工学	18			
				応用化学	18			

※学問分野は『螢雪時代』(旺文社)の分類による。 ※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。 ※学科組織がない場合は、学部をカウント。
※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。
※学科の履修地が複数ある場合(選択制、コースによって変わる、学年で変わるなど)、それぞれのエリアにカウント。大学本部のみ判明の場合は本部所在地にカウント。

■経営学・経営情報学・商学・会計学が全国的に多い

図表7では、学問分野別の学科数をエリア別に集計し、上位20分野を示した。関東・甲信越に大学が多いなど、エリアによって国公立大学の数や私立大学の数が異なってくる。そのため、学科数はエリアによって異なることには注意する必要がある。

いずれのエリアにも入っているのは12分野（心理学／語学／小学校・幼稚園課程／経済学／経営学・経営情報学・商学・会計学／社会学・観光学・メディア学／国際関係学・国際文化学／数学・情報科学／電気電子工学／情報工学／看護学／医療・保健学）。また、5年前と比較すると、北海道・東北、北陸・東海、中国・四国、九州の4エリアで数学・情報科学が20位以内に入ってきており、情報系の増加の一端が見られる。

このように、どのエリアでも学べる学科がある一方、原子力工学などエリアによっては学べないものもある。

これまで、大学の新設が統合や募集停止を上回ってきたため、大学数は増加してきたが、今年度は減少だった。2026年度は学習院大学と学習院女子大学が統合される。加えて、名古屋柳城女子大学と京都ノートルダム女子大学が募集停止を表明した。一方、7大学が新設を予定している（記事執筆時。大学院大学の学部新設を含む）。大学数とは直接関係はないが、近年女子大の共学化も目立つ。大学数は高等教育の規模をはかる指標のひとつに過ぎないが、18歳人口減少のなか（進学率がどこまで上昇するかは未知数）、各大学の今後の取り組みとともに注目される。

(2025.7 今村)